

# 日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2022年 第1回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890

メール info@jcp-himeji.com

共産党姫路 検索



谷川まゆみ 検索 ブログ



森ゆき子 検索 ブログ



苦瓜かずしげ 検索 ブログ



村原もりやす 検索

## コロナ禍から 市民のいのちと暮らしを守る予算に



代表質問する村原議員

### 2022年度姫路市一般会計予算案等に反対

一般会計予算案には、第3子以降の学校給食の無償化、学びを保障するための夜間中学「あかつき中学校」の開設に向けた準備、姫路市パートナーシップ宣誓制度の導入など前進面もあります。しかし、不要不急の大型公共事業、大企業優遇、マイナンバーカードを取得させるための不平等なポイント付与など、岸田内閣の国民に冷たい政治から、市民のいのちと暮らしを守る予算になっていないとして、一般会計予算案に反対しました。また、国民健康保険加入世帯のうち、年収300万円以下世帯が93%を占めています。その世帯の保険料負担が収入の1割を超える国民健康保険事業特別会計予算案、10月から一定所得のある被保険者が2割負担となる、後期高齢者医療事業特別会計予算案にも反対しました。

### 市長の基本姿勢について

平和行政の推進、核兵器禁止条約について市長の姿勢を質し、ジェンダー平等の土台である男女の賃金格差是正のため、市が雇用する非正規職員(会計年度任用職員)の賃金引き上げを求めました。また、新型コロナウイルスから市民の命を守るため、迅速で安全な3回目のワクチン接種や、高齢で持病があれば自宅療養ではなく治療をと求めました。また、5歳から11歳の子どもたちへのワクチン接種は保護者へメリットやリスクについて情報提供を行うよう求めました。



### 地方自治体は 個人情報を守る防波堤に

デジタル化の推進と個人情報保護強化は一体化のもので、住民福祉の増進と人権擁護の視点で進められるべきです。自治体には個人情報を守る条例があり、国の緩い個人情報保護法に合わせるのではなく、今こそ自治体は防波堤になるべきと質しました。また、行政のデジタル化で市民サービスの低下を招くことがないよう求めました。当局の答弁は、「改正法の施行後は、法の規定に基づく運用を行い、法の趣旨を踏まえて個人情報の保護に努めていく」とのことでした。

### 「城陽小学校における体罰・暴言事案に係る検証委員会」のまとめをどう生かしていくのか

体罰・暴言が長期継続した原因は、管理職の甘い認識や教職員のメンタルヘルスの維持の欠如など、管理職に重大な問題があったと指摘されており、管理職への研修、支援員の増配置を求めました。「体罰防止に関する研修と特別支援学級に関する研修を行う。組織的な指導体制の確立、校長・教頭研修を実施する。支援員については、令和4年度は10人程度の増員を行う」との答弁を得ることができました。



### ヤングケアラーの支援について

国の調査では18歳未満の20人に1人がヤングケアラーといわれていますが、姫路市が把握しているのは僅か21人と少なく、実態調査を行うことや、教職員や福祉関係者への研修を求めました。当局の答弁は、「ヤングケアラーへの早期発見、把握及び支援に向けた対応に係る検討会議の開催と、支援者向けの共用マニュアルや共用アセスメントを作成し、支援につなげる。実態調査は行わない」とのことでした。



### 北部農山村地域活性化

#### 拠点施設整備事業は住民意見の尊重を

2012年に夢前町産業廃棄物最終処分場の建設計画が持ち上がり、その後「処分場建設反対」の住民運動が大きく広がりました。当時の石見市長は、2015年の新年交礼会で処分場予定地の購入を表明しました。2018年には、北部地域の活性化を目的とする「北部農山村地域活性化基本計画」が策定され、それに基づき北部農山村地域活性化拠点施設整備事業が行われています。事業の推進に当たっては、広く住民の意見を尊重し、理解と納得の下進めることを求めました。



## 2月議会の質問から

姫路市議会議員による



森ゆき子議員

### 市立3高校の在り方については ていねいな議論を進めること

**森議員:**教育委員会は、市立高校の在り方審議会に

- ①3高校の財政負担
- ②校舎の維持管理経費
- ③1学年学級数は6~8以上が県の基準
- ④10年後の中学卒業生徒数が1割減の見込みなど、3高校を維持するべきか検討課題を示しました。審議会は2月末に3高校を1つに集約するよう答申しています。しかし、3高校にかかる予算は一般会計予算のわずか0.7%前後で市財政の負担とは言えず、校舎の維持管理も国の事業債が活用できません。生徒数減少も市立高校だけで調整する責任はありません。学びを保障する教育行政として、教職員や市民の意見も聞き、もってていねいな議論を進めることを求めます。

**答弁:**人口減少社会のなか市全体の予算規模拡大は望めず、これ以上の予算確保は厳しい。施設整備の際は国の事業債を積極的に活用する。生徒数減少を市立高校だけで調整する必要はない。今後は教職員からの聞き取りやパブリック・コメントの実施で広く意見を伺いながら進める。

### 住民の安全・安心を守る鉄道踏切対策を

**森議員:**県の踏切安心すっきりプランで危険と指定された市道踏切7か所と、国の改良すべき踏切に指定された市道踏切6か所のうち、飾磨地域だけで4か所の踏切が国・県どちらの指定にも重なっています。安全な鉄道踏切対策として切望されている、連続立体交差事業への対応を求めます。

**答弁:**飾磨・飾磨東踏切は駅北改札整備で対応している。新下野田と飾磨中学前踏切は注意喚起対策で当面の対応となる。飾磨地域の連続立体事業については国・県の動静や周辺事業の状況を総合的に勘案しつつ長期的課題として取り組む。



苦瓜かずしげ議員

### 不当要求事案報告書で違憲と 専門委員が指摘したことについて

**苦瓜議員:**松原八幡神社に隣接する公園トイレは、「神社の旧トイレの取り壊し費用の負担や新トイレ設置は特定の宗教団体に便宜を図っている。政教分離の原則に反しており、違憲である」との専門委員の厳しい指摘に対し、灘のけんか祭りを

引き合いに出し、観光目的のトイレで、直ちに憲法違反とは考えていないと断定していることは重大です。

**答弁:**市の顧問弁護士の意見も聴取し、直ちに憲法違反にならないと判断し、その旨を報告書に記載した。

### 兵庫県の中学校における少人数授業と 35人学級の選択についてどう対応するのか

**苦瓜議員:**兵庫県は2022年度から中学校で、1学年を上限に少人数授業が35人学級編制かを選択できる仕組みを導入します。全国では中学1年生が35人以下学級でないのは、兵庫、大阪、広島のみです。姫路市は、中学校1年生に少人数学級としての35人学級編制を選択すべきです。

**答弁:**中学校で35人学級を選択する場合は、教員増が必要で、35人学級の選択は難しい現状である。今後は、教職員定数の改善を国、県に対して要望する。

### 副市長を2人から3人にする条例改正案について

**苦瓜議員:**姫路市副市長の給料は、県内2位の月額96万円で、さらに期末手当、任期4年間の退職手当約1,475万円の1年あたり額、共済負担金などを合算すると、年額約2,300万円と見込まれます。一般職員数は条例定数より234人も不足しています。この人件費は副市長増員より一般職員数の確保に充てるべきです。

**答弁:**3副市長はそれぞれ特命的に役割を担い、事業の進捗管理を行い、複雑化・多様化する市民ニーズや増加する行政課題に対応する。

## 市民の願い実現へ

### 「姫路市パートナーシップ宣誓制度」の導入

多様な性のあり方が尊重され、誰もが自分らしい生き方ができる地域社会の実現を目指して導入するもので、自治体が同性カップルの証人を行う制度です。

### 「(仮称)母子健康支援センター」の整備

思春期保健・母子保健など幅広い世代・子どもたちをサポートする施設で、JR東姫路駅近くに整備されます。開設は、2023年度を予定しています。

### 学校給食の第3子以降の無償化

南部学校給食センターが完成し、市内全ての小中学校において給食が実施されることになりました。多子世帯の家計負担を軽減するため、第3子(一番上が高校卒まで)以降の給食費が無償となります。

### 夜間中学「あかつき中学校」の設置

義務教育を修了しないまま学齢期を超過した人や外国籍の人など、十分に教育を受けられなかった人たちに対して、学びの場を保障するものです。場所は東小学校内で、2023年4月に開校します。

## 異例の継続審査となっていた2020年度一般会計等決算認定に反対

反対討論を行う  
谷川まゆみ議員



松岡議員による不当要求問題について、特別委員会が設置されるなど真相究明が図られ、その間2020年度の一般会計決算認定と下水道事業会計決算認定の両議案は、異例の継続審査となっていました。その後、特別委員会の最終報告や検証等専門委員による報告書が提出され、今議会冒頭の2月21日に、両決算認定議案についての採決が行われました。

私たち議員団は、いずれの議案についても、松岡議員の不当要求に屈し、不適切な予算流用を行うなど公正・公平な予算執行、「全体の奉仕者」としての行政運営がなされていないなどの理由によって反対しました。

力を合わせ頑張ります

団長 谷川まゆみ  
●厚生委員会 副委員長

幹事長 森ゆき子  
●経済観光委員会

団員 苦瓜かずしげ  
●総務委員会  
●議会運営委員会

団員 村原もりやす  
●文教・子育て委員会  
●中播衛生施設事務組合議会議員